

② 校内支援体制チェックリスト

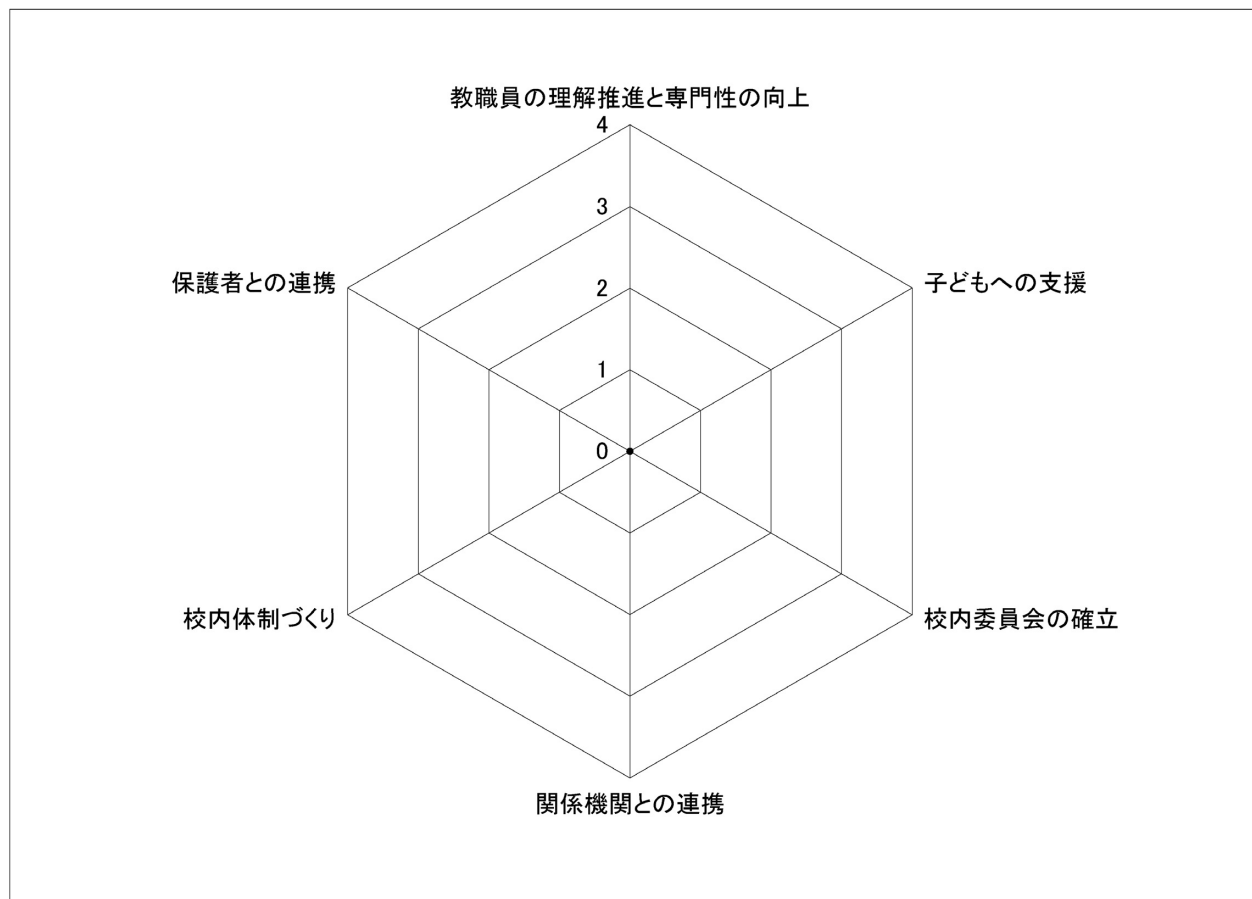
番号	分類	診断項目	得点
1	教職員の理解推進と専門性の向上	子どものつまずきを把握するためのチェックリスト等を活用している	
2		授業参観等での児童の行動観察シートが作成している(指導・授業記録)	
3		LD等の特性についての研修会を行っている	
4		授業研究などで、特別支援教育の視点で話し合っている	
5		コーディネーターの取組を全教職員に発信している	
6		行事等での子どもの配慮事項について話し合っている	
7		学校の研究テーマに特別支援教育の観点を組み込んでいる	
8	子どもへの支援	一人一人を大切にした学級経営をしている	
9		学習や行動のルールを明確にしている	
10		子どもの特性に応じた教室環境をつくっている	
11		特性に応じた教材・教具を作成し、活用している	
12		子どもと個別に話し合う時間を意識的にとっている	
13		学級で支援が必要な子どもへのかかわり方を指導者が周囲の子どもにもモデルとして示している	
14	校内委員会の確立	校内委員会を定期的に行っている	
15		コーディネーターが計画的に校内委員会を行っている(目的の明確化、時間の設定)	
16		個別の指導計画の作成・協議をしている	
17		多様な支援形態や、人材を活用した指導体制ができている(グループ指導、習熟度等)	
18		話し合った後、全体の場での情報共有をしている	
19		多様な意見を出し合えるよう会の運営をしている	
20	関係機関との連携	相談機関を利用する手立て、手順などのシステムができている	
21		巡回相談や専門家チームを活用している	
22		他機関との合同のケース会議を行っている	
23		話し合ったことを基にして、支援方法を明確に評価している	
24		話し合った内容をファイルなどで統一して保管している	
25		個別の教育支援計画を作成している	
26		個人情報の取り扱いについて、決めている	
27	校内体制づくり	子どもの実態把握のためのチェックシートを活用している	
28		気になる子どもについて、相談窓口を統一している(システムの確立)	
29		コーディネーター等に子どもの様子を観察してもらえる体制ができている	
30		子どもの実態について、職員間で話し合っている	
31		特性に応じた教材・教具を作成し、共有している	
32		LD等発達障害に関する書籍等を活用しやすく保管している	
33		学校評価に特別支援教育の項目を含んでいる	
34	保護者との連携	保護者のニーズを把握している(話し合いの場を持っている)	
35		相談の際の手順を作成し、示している	
36		保護者に対して、個別の指導計画を活用している	
37		保護者との話し合いの記録を引き継いでいる	
38		学級通信等で子どもの日々の様子を伝えている	
39		LD、コーディネーター等のことについて学校便り等で知らせている	
40		LD等についてPTAの研修会を開いている	

② 校内支援体制チェックリスト

実施日 : _____

学校名			
記入者職名		記入者氏名	

要素ごとの平均得点					
教職員の理解推進 と専門性の向上	子どもへの支援	校内委員会の確立	関係機関との連携	校内体制づくり	保護者との連携



【記入方法】

評価(得点)は、
 《 1 不十分である 2 やや不十分である 3 おおむね取り組んでいる 4 十分にに取り組んでいる 》
 とし、数字を入力してください。